



Graduate School of Human and Environmental Studies / Faculty of Integrated Human Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科<通称「人環」(じんかん)>では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。世界の研究者や学生との交流が日常的になり、「国際交流」という言葉自体が当たり前になっていると言ってもよいかもしれ

ません。このリーフレットでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。人環で世界との繋がりを持ちましょう。



第9回国際交流セミナー (2頁参照)

研究者の交流

毎年多数の外国人研究員(客員教授・助教授)、外国人招聘学者、外国人共同研究者などが本研究科を訪れ、研究活動、学会参加、学生指導などを通して目覚ましい貢献をしています(表1参照)。18年度、海外から本研究科を訪れた研究者は次の通りです。

外国人研究員(客員教授・助教授)

・次頁(2頁)で詳しくご紹介していますのでそちらをご覧ください。

外国人招聘学者 [()内は国籍/所属]

- ・Dr. Ksenia Gennadievna Sanina (ロシア/国立極東大学東洋学院助教授)
- ・Dr. Ronald E. De Meersman (米国/コロンビア大学教授)
- ・Dr. Ibrahim Haji Jaafar (マレーシア/マレーシア科学大学助教授)

外国人共同研究者 [()内は国籍/所属]

- ・Dr. Unuk Drago (スロヴェニア/マリボル大学教育学部助教授)
- ・Dr. Grenn Sven Peter Svensson (スウェーデン/ルンド大学ポスドク)
- ・Dr. Stephane Symons (ベルギー/ルーベン大学文化哲学センター大学院博士後期課程)
- ・Dr. Xu Chao-Jiang (フランス/ルーアン大学数学研究科教授)
- ・江建平博士 (中国/中国科学院成都生物研究所研究員)
- ・Dr. Federico Luisetti (イタリア/トリノ大学文学部哲学科リサーチ・アシスタント)

また、本研究科からは多くの研究者が学会参加や共同研究のため海外に出掛けており、その数は平成18年度には延べ約100名にのぼりました。

平成年度	11	12	13	14	15	16	17	18
外国人研究員(客員教授・助教授)	3	6	6	3	4	6	8	6
外国人招聘学者	1	1	1	2	5	2	4	3
外国人共同研究者	2	0	3	5	1	1	4	6

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時一名ないし二名の外国人研究員（客員教授・助教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。懇親会では大いに話しが弾みます。以下、平成18年度中に実施された国際交流セミナーを簡単にご紹介しましょう。

第6回 2006年6月13日

演者 Professor Vsevolod Evgenievich Bagno
ロシア科学アカデミー ロシア文学研究所主任
演題 ロシアなる表象と西側の「ロシア理念」



第7回 2006年8月1日

演者 Professor Jacques Pain
フランス パリ第10大学 教育学部教授
演題 校内暴力と制度主義教育論



第8回 2006年9月28日

演者 Professor Tekalign Wolde-Mariam
エチオピア アジス・アベバ大学助教授
演題 抵抗の「テキスト」と「伝統」を問いなおす：
南部エチオピアにおける歴史学と人類学の新領域



第9回 2006年11月10日

演者 Professor Gertz Likhtenshtein
イスラエル ベングリオン大学名誉教授
演題 ソヴィエト連邦、新生ロシア、イスラエルの
大学教育。その長所と短所。



第10回 2007年2月26日

演者 Professor Gernot Böhme
ドイツ ダルムシュタット工科大学退休正教授
演題 霧の像—あるいは無への途上における写真



学生の交流

本研究科では多くの外国人学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2006年5月1日現在1,236人の留学生が在学していますが、そのうち106名が本研究科で学んでいます(表2参照)。106名という数は本研究科の全在学生約650名(修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別研究生を含む)の約16%に当たり、また、その出身地は27カ国に及んでいます(表3参照)。

平成3年4月の開学以来、48人の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 留学生受け入れ数
(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
平成11年	69人
平成12年	72人
平成13年	85人
平成14年	90人
平成15年	102人
平成16年	106人
平成17年	97人
平成18年	106人

表3 平成18年5月1日現在 留学生出身地
(数字は人数)

中国	48	台湾	14
韓国	11	イスラエル	4
米国	4	インド	2
英国	2	トルコ	2
アルゼンチン	1	ウクライナ	1
ウズベキスタン	1	エストニア	1
オランダ	1	コロンビア	1
ジャマイカ	1	シリア	1
スーダン	1	スペイン	1
ハンガリー	1	ブラジル	1
フランス	1	ベトナム	1
ベルギー	1	ポーランド	1
マレーシア	1	モンゴル	1
ロシア	1		

計106

留学生研修旅行

本研究科では毎年秋、留学生研修旅行を実施しています。留学生にとっては、ひととき、勉強のプレッシャーから解放されて、日本文化に接したり他の留学生や教職員と交流できる良い機会です。留学生の皆さんは、ぜひ申し込んで下さい(詳細は10月初めに発表予定)。

これまでの旅行先は次の通りです(1999年ー2001年は日帰りバス旅行、2002年以降は一泊旅行)。

- 1999年11月 姫路城、兵庫県立歴史博物館
- 2000年11月 伊賀上野、柳生
- 2001年11月 淡路島、須磨
- 2002年11月 飛騨、高山
- 2003年11月 加賀、金沢
- 2004年11月 天橋立、城崎
- 2005年10月 高野山
- 2006年11月 広島、安芸の宮島

2006年広島方面への研修旅行の写真から



原爆ドームの前で



原爆死没者慰霊碑



雨の厳島神社



宮島の旅館で夕食



宮島の海を背景に



広島風お好み焼き体験

海外留学など

本研究科の学生が海外留学をする場合、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、派遣制度を利用しない一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、そして語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は、早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学留学生課発行「海外留学の手引」を参考にして下さい）。

また、留学以外にも、フィールド調査や学会出席のため、毎年、人環の大学院生数十人が海外へ出掛けています。



三輪聖さん

ベルリン・フンボルト大学
ドイツ語学・言語学研究所
博士後期課程に在籍
Schloss Wartinでのワークショップの様子（右端が三輪さん）



日塔理恵子さん

ローマ大学“ラ・サピエンツァ”
人文学部美術史学科 単科コースに在籍
ナポリの修道院にて



松野さやかさん

バーゼル大学哲学科に在籍
フリブール大学での語学研修での写真
（右端が松野さん）

大学院人間・環境学研究科／総合人間学部 「国際交流推進後援会」

人環／総人に在籍する留学生および外国人研究者に対する援助、支援を行うと同時に、その他の国際交流活動を推進するための財政的基盤を確立する目的で、2005年1月1日付けにて「京都大学大学院人間・環境学研究科／総合人間学部国際交流推進後援会」が設立されました。この後援会は、本研究科の教職員に限らず、その趣旨にご賛同頂ける方ならどなたでも加入して頂けます（一口2000円）。詳しくは、人環大学院掛窓口までお問い合わせ下さい。

人環の日本人学生＋留学生＋教職員のための 「初夏の餃子パーティー」開催

平成18年6月8日、「初夏の餃子パーティー」が開催されました。留学生が中心となって餃子やインド料理、韓国料理を作り、多くの日本人学生も運営に参加しました。当日は150人を越える学生や教職員が参加して大盛況でした。第二弾を行ないますので、ぜひご参加下さい。



問い合わせ先：

◇京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952（担当：川崎）
Email: Skawasaki@staff.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

◇国際交流委員／留学生担当講師 藤田糸子

Phone: 075-753-6868

Email: itokofujita@hes.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

